

入院医療体制の強化

1 病床の確保

さらなる病床の確保に向けて、各病院と個別に協議を進め、新たに65床を確保

区分	現行	今回	差引
病床数	1,529床	1,594床	+65床
重症	142床	142床	0床

[+65床の内訳：公立公的3病院15床、民間14病院50床]

2 入院患者の転院促進

医療機関に対し、入院患者の転院促進について改めて要請

- ①入院治療の必要性が低下した患者の宿泊療養施設等への転送
- ②基礎疾患の治療等が必要な回復患者の回復者受入医療機関への転院の積極的な活用

3 今後のフェーズ運用

現在、フェーズⅢにより運用しているが、感染者数の急増を踏まえ、フェーズⅣに移行

フェーズ		I	II	Ⅲ感染拡大期1	IV感染拡大期2	V感染拡大特別期	
フェーズ切替の契機	病床利用率	10%未満	10%以上	20%以上	50%以上	総合的に判断	
	新規感染者週平均 [週患者数/10万人対]	20人未満 [2.5人未満]	20人以上 [2.5人以上]	80人以上 [10人以上]	400人以上 [50人以上]		
体制	構築の考え方	20人の新規感染者に対応	80人の新規感染者に対応	400人の新規感染者に対応	800人の新規感染者に対応		
	病床	病床数	300床程度	600床程度	1,000床程度	1,200床程度	1,400床程度～
		うち重症	30床程度	60床程度	100床程度	120床程度	140床程度～
	宿泊	室数	300室程度	1,000室程度	1,500室程度	2,000室程度	2,400室程度～